

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|-----------------|
| 施設番号 | 66-1359 |
| 施設名 | 小石川ちとせ保育園 |
| 施設所在地 | 東京都文京区小石川2-4-12 |
| 法人名 | 社会福祉法人 ちとせ交友会 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

かがくのふしぎ

<テーマの設定理由>

昨年度も子どもの興味から導入したが、鏡の活動を行ったときに「なんでだろう」と、とても興味を持ったことから、かがくの不思議にまつわる現象をいろいろ体験させてあげたいと感じた。

2. 活動スケジュール

5月28日（水）空気砲 空気のかたまりを発射！
7月30日（水）音の不思議（糸電話）音遊びを楽しもう
9月17日（水）空気・摩擦 空気のでスライダーを発進
11月19日（水）目の錯覚 みんなの目は不思議
1月28日（水）凧づくり 紙だけで作った凧をあげよう
2月4日（水）静電気、磁石のちから こすると生まれる不思議

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備した素材や道具】回転ロケット、ストロー、合わせ鏡、洗濯ばさみ、スライダー、うちわ、凧の制作用和紙、紙テープ、ハンカチ、下敷き、紙コップ、磁石、セロハンテープなど

【環境の設定】子どもたちの興味を探求できるようにディスクッションが多くなるような環境を整えた。不思議だな？という気づきができるような活動を取り入れた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・大きな袋に空気を入れて飛ばしてみる、箱の空気砲を使い空気の仕組みを知る
- ・音遊び。糸で相手の声が聞こえる音の不思議を感じる活動
- ・スライダー遊びを通して、空気と摩擦を感じる活動
- ・紙だけで作る凧作り・下敷きなどを使って静電気を発生させる活動
- ・磁石を使って磁石の引き合う力を感じる活動

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・ロケット作りでは、どのようにして空気を集めたら良いかを考えた。「走ってみたら空気が入るのではないか」という意見がでた。・音遊びでは、糸をどのようにしたらピンとはれるか？また、相手の声が聞き取りやすいのか？試しながら楽しんでいた。友だち同士で行ったことで、「ピンと張るにはここに貼ればいいよ！」や「この位置だと聞こえる。聞こえにくい」など、音がかすかに揺れる振動で聞こえることに気づいていた。
- ・静電気遊びでは、初めて下敷きを使用したことで、髪の毛が浮き上がることにとても驚き、お友だちの髪型に笑いあう姿も見られた。なぜ、髪の毛が浮き上がるのかとても不思議に思っていた。「魔法使いになったみたい」という声も聞かれた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ロケットの中にどのようにしたら空気を入れられるか考えた時に、大人では考えないような発想が聞かれた。また、効率良く入れようとうちわであおぐと良いなど、よく考えていた。「かがく」に興味を持ち、何が「かがく」につながるのかを講師・職員で話し合い子どもたちが興味がわく活動を中心に計画したことで意欲的に取り組み、保育士も一緒に子どもの気づきに共感が持てた。・他児の意見を聞く姿勢に成長を感じた。発言、聞く、一緒に考えるという工程を体験出来て良かった。